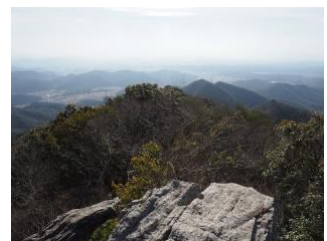


2022年1月17日

三鍋敏郎

JR 藍本駅の駐車場に車を止め、大阪街道沿いに連なる集落を南に向かうと右手に郵便局がある。郵便局を過ぎると街道とほぼ直角に西に真っ直ぐ伸びる道路があるのでそれを進む。集落の終わりに溜池が現れる。溜池を時計回りに進み舞鶴自動車道の高架下の道路を西に向かう。参道は谷沿いの狭い道となり、アベマキなどの雑木林を見上げながら進む。ヒサカキやヤブツバキの多いゴロゴロ岩の歩きにくい道をしばらく歩くと石段上に虚空蔵堂が見えてくる。ここで暫し休息。

お堂からも急登が続くがミツバツツジが多い山道なので春は楽しめるだろうと思



う。道端のコウヤボウキの花柄がタンポポの綿毛のようで面白い。やがて左手に岩場が出てくるが、露岩の上に立つと見晴らしがよく丹波の山々、篠山市街などが眼下に広がり気持ちが良い。

岩場から山頂は近い。山頂は灌木が茂って展望は昔ほどではない。昼には少し早く、山頂で風景を楽しんだ後、再び北に向かう。背の低い灌木に覆われて狭い尾根道を進む。アップダウンを繰り返す暫く歩くと尾根が2つに分岐するので、左の尾根を選び北西に進む。標高差 50mほど下り、コルから再び登りになると広いピークに出る。

ピークから北に向かう。ミヤマシキミの小豆色の花芽が膨らんでいる。小ピークをいくつか越えると標高 495.9mの八王子山に出る。山頂は灌木に覆われ展望はない。

ピークから東に下ると草野駅には最短コースだが急斜面なので私達は北に向かって進む。

この辺りはネズミサシが多い。緩やかに尾根を下ると、尾根がくの字に曲がり小ピークがあるので東に進むとコルを経て標高 417mの大谷山に到着する。

大谷山から草の駅方面に下る道を塞ぐように木切れが置かれていたので、ためらいもなく北尾根を進む。同行の、近年は断酒されている O 氏が「ジンのカクテルに、この実を入れると値段がぐっと高くなるんや」と解説するので、ネズミサシの青黒く熟れた果実を一粒、犬歯で齧ると、ジンのような特徴的で爽やかな味と香りが口の中に広がり、吸い込む空気がハッカのように冷たく感じて面白い。

山頂から崖のような急坂を標高差 150mほど下ると油井の集落に出る。溜池があり田園風景を見ながら南に進むと JR 草野駅に出る。草野駅からトンネルを抜けると藍本駅に到着する。



この山の尾根筋がミツバツツジのトンネルになるだろう春に再び訪れまじょうと声をかけたのだが、短めのコースでお願いします。と言われた。考えてみると春はアチコチの山からお誘いがかかるのでチャンスは少ないだろうと、思いを巡らしていた。

★メンバー 三鍋・他 3 名

★コース 藍本駅 9:16~虚空蔵山 11:00 発 07~第 1 鉄塔 11:40 発 12:00~八王子山 12:28 発 35~第 2 鉄塔 13:07 発 10~417m大谷山 13:18 発 20~道路 13:57~JR 草野駅 14:15